

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん
載っています

作成:NP0 法人 ハケ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照

②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

クリタケだ～！ (悦)

11月は、何を観察するか悩むのですが、今回は、黄葉・紅葉の色の具合から、落葉から、そこに生息する樹木を確認しながら、進みました。

市民の森での大木第一位のサワラの太さを測定してみました。胸高直径(根際から130cmの直径)108cmで、前回(2021年)の測定結果 106 cmから 2 cm太くなったという結果でした。

しかし、測定中にクリタケの群生発見の音が上がると、クリタケ採集にどっと人が流れ、やはり、測定結果より、クリタケの方が魅力的なようです。何事も食べ物には勝てない。



樹木の成長 (悦)

植物は、細胞壁を持っているために、動物のように細胞が移動できない。植物が体を作っていく際には、積み木式に体を作るほかない。そのため、樹木は、根や茎などの先端にある縦方向に伸びる**伸長成長(成長点)**と、樹皮の下にある横方向に太る**肥大成長(形成層)**をあわせることで高く、太く高くなっていきます。



ということは、2018年測った胸高直径の位置は、移動していないはず。

冬眠の準備？ (矢)



ウリカエデ(?)に独特な模様のカメノコテントウ。そろそろ仲間と共に冬眠の準備でもするのだろうか？

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《問合せ》 NP0 法人 ハケ岳森林文化の会

☎: 0266- 75-1772

WEB ガイドを拡張しました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを拡張しました。

①植物ガイド

②昆虫ガイド

③植物・昆虫を観察しよう

①②は植物・昆虫の名前、観察月で検索できます。

③はガイドブック2の「観て楽しむ」の章を掲載しています。



キラキラの正体は？ (矢)

国宝縄文のビーナスのキラキラは、ここの(吉田山)の砂を使用したとか。



吉田山の基盤を成す花崗閃緑岩は火成岩類の深成岩。構成鉱物は、石英・カリ長石・斜長石・黒雲母で風化し易い。「石ころ博士入門(全国農村教育協会)」に黒雲母は六角板状で風化すると金色に、とある。

なるほど、このキラキラは黒雲母が風化したものなのかー！

ところが、「小学館の図鑑 NE0/岩石・鉱物・化石」には、金雲母も載っている。(金雲母が載っているのは、手持ちの岩石・鉱物関連図鑑ではこれのみ) う～ん難しい！

とりあえず、このキラキラは雲母の仲間と言うことで...

ウバユリの戦略 (悦)

この果実の構造を見てください！



1個の果実が3室に分かれ1室2列で沢山の種子が格納されている。

部屋と部屋の間には、櫛状の柵があって、タネが零れ落ちないようにしている。この構造から、果柄が揺れる(風、動物が触る)と一番上から舞い上がり、風で運ばれる。

一度に全部のタネ撒くのではなく、ちよつとずつ飛ばすのは、リスク分散を狙っているのか？

11月観察した虫たち (馬)

＜昆虫＞

●オオムラサキの幼虫②114



●カメノコテントウ②125

11月観察した果実 (悦)

●アブラチャン①66

●マタタビ②83

●オニグルミ②104

●グリ①123

●コナラ①121

●ウバユリ①97

●ウメドキ

●オトコユヅメ①76

●ガマズミ①83

●コバノガマズミ①76

●サルマメ②72

●メギ①73

●ツルリンドウ①112

●ムラサキシキブ①93

●ボタンヅル①92

●ミズキ①79

●ナツハゼ②81

●スイカズラ①84

●イヌザンショウ①138

●サンショウ①138

●サンカクヅル②82

11月観察した冬芽

●キブシ①67



●アブラチャン①66



●ツノハシバミ①67

何の葉？ (桂)

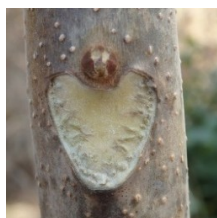
黄色い葉っぱを道すがら拾い、並べて見ました。ダンコウバイ、ダケカンバ、ウリハダカエデ、ウリカエデ、コナラ、カツラ...あとは自信がないです。わかったつもりでいたのに・・・情けないです。



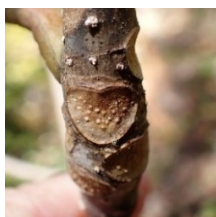
葉痕

枝と葉の間にある水分や栄養素を運ぶ管を維管束といいます。葉が落ちるとその接続点に維管束の跡が残ります。これが、色々な模様となり、冬の観察で注目されます。

キリ GB①126



ホオノキ GB①119



オニグルミ GB②104



唯一の常緑広葉樹
ソヨゴ GB①133
果柄の長い
艶のある赤い実を
付けます。



心地よい一日 (矢)

今月は心にしみる紅葉の森の中をただただ歩く(すみません、観察会でしたね！)
心地よい一日でした。



南コース・コナラ林



市民の池



せせらぎコース・山の神

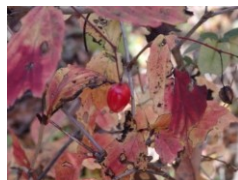
紅葉・黄葉で樹木を見つける



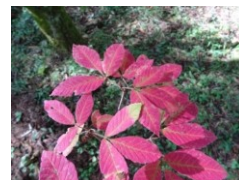
コシアブラ



アオハダ



オトコヨウゾメ

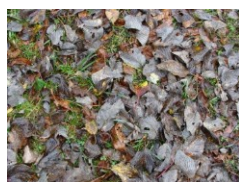


メグスリノキ

落葉で樹木を見つける



ヤシャブシ



ミズキ



ハリギリ

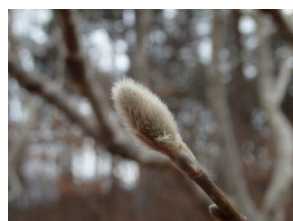


ウダイカンバ

冬芽の防寒対策

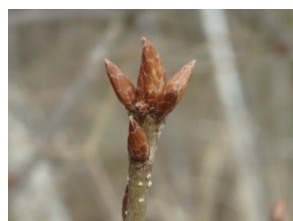
樹木は、大事な生長点を鱗片(いろいろな形を取る)で包んだ冬芽を作ります。

毛で覆う



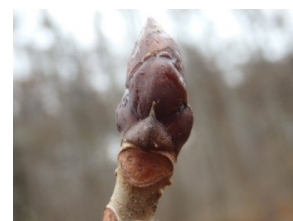
コブシ GB①120

芽鱗で包む



コナラ GB①121

ねばねばの粘液で守る



トチノキ GB②106

ワースト物見つけ (口)



大きな朽木にクリタケが、根本にぐるりと幹を駆け上がるようにそれは見事な景色。宝物を探し当てたような高揚感がありました。クリタケご飯いい香りでした。



スッポンタケ
悪臭に引き寄せられてハエなどが集まり、傘(頭部)の粘液をなめ最後には白い網目模様だけが残るとのことです。



今年はツルリンドウの種になかなか巡り合えなかったから貴重な一個です。



2018.10.30